

令和5年度 第3回 双葉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年12月12日（火）15時から16時50分
- 2 開催場所 双葉小学校 会議室
- 3 出席委員 河邊 忠一、加藤 泰弘、伊東 敏郎、水野 久美子
大羽 恵子、蓑 悦子、伊藤 篤志、木村 理
- 4 欠席委員 平岡 廣二、富田 秀仁
- 5 学 校 藤井 隆志（校長）、滝川 宏美（教頭）、浅井 功平
（教務主任）、加美 美紀（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 加美 美紀
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、加藤委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

やりたいことを見つけて挑戦する子を育てるために

- (1) キッズチャレンジビジネスについて
- (2) 来年度に向けて「子供主体の教科学習を目指して」

11 会議記録

司会から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) キッズチャレンジビジネスについて

議長の指示により、校長から、別紙に基づき説明があった。キッズチャレンジビジネスの再構築に向けた方針、これまでの活動実績、子供たちのキッズチャレンジビジネスに対する取組や思いなどが紹介された。6年生から5年生への引継ぎでは、この活動について余すことなく伝え、今後、どう判断し進めていくかを話し合っていきたいとの説明があった。

続いて6年1組、わかば5組担任より「この活動は子供たちのパワーの源であり、知的好奇心をはぐくみ、充実した学びとなった。」「キッズチャレンジビジネスと教科をもっとつなげることができたかもしれない。」「終わったあとの達成感が感じられた。出来る・出来ない、また、何が出来るかということを見極めることも必要だと感じた。」との説明があった。

(1) について、委員からは以下の発言があった。

- ・ 子供たちがこの活動を通じて、目標を立てて邁進できたことは立派だと思う。

ボランティアとしてのやりがいも感じる事ができた。今後、大いに自信を持ってやってほしい。(大羽委員)

- ・ ボランティアとして携わったが、会う回数が増えると子供たちから声を掛けてくれるようになった。販売当日は待っている人に声を掛けるなど、地域の方からも接客が良いとの声を聞いた。来年もスムーズに進められるとよい。(蓑委員)
- ・ 6年生から5年生への引継ぎの時間にはまだ温度差があると感じたが、書面で残してくれたことは大きな財産になるので、上手に活用してほしい。ボランティア間でも、自分たちでやろうという意欲を持った子が多いと聞いている。(木村委員)
- ・ ボランティアとして見学させてもらったが、みんな真剣で、遊ぶことなく活動していたと思う。商品の受け渡しなど練習が必要な場面もあった。商品につけられた帯は、高級感があり、お値下げ品のアイデアもよかったと思う。(伊東委員)
- ・ 活動する中で子供たちが「何のためにやっているのだろう」と気づくことはとても大切で、キッズチャレンジビジネスのような経験が人生の糧、スキルになると思う。(水野委員)
- ・ キッズチャレンジビジネスは、毎回ブラッシュアップされていると思う。子供主体で活動されており、残していかななくてはならないものだと思う。PTAの活動がキッズチャレンジビジネスに反映されていないので、現役の保護者も携われるようにするべきだと思う。(伊藤委員)
- ・ 販売当日の接客を見ていると、若干答えられない子もいたが、よく説明が出来ていたと思う。教科とつなぐとの話があったが、どういうことか教えてほしい。(河邊委員)
- 例えば、伝統工芸品の良さを書いて伝えるのは「国語科」、電卓を使った計算は「算数科」など、教科とつなげて学ぶ方法がもっとあったと思う。(6年担任)
- ・ 子供は、人前になるとどんどん活躍していく。販売や金銭を扱うキッズチャレンジビジネスを「これは子供の学びです」と前面に出してよいのだろうか。見る人によっては、子供を使って販売していると考える人もいると思う。(加藤委員)
- ・ 営利にかかわることなので、大人がきちんと説明のつく形に仕立てておくことも大事。(大羽委員)
- ・ いろいろな考え方に対処しておくことはとても大事で、こういう販売体験を続けるためにも、みんなで考えて、いい経験をさせてあげたい。(水野委員)

(2) 来年度に向けて「子供主体の教科学習を目指して」

議長の指示により、校長から、別紙に基づき説明があった。子供の「やりたい気持ち」を引き出す教科学習を意識することを目指してきたが、行事が重なり追いつかない部分があった。3学期から、キッズチャレンジビジネスにつながった、支えたりする教科学習を少しずつ始めていきたいとの説明があった。

(2) について、委員からは以下の意見があった。

- ・ 2年生の生活科「双葉の地域博士になろう」について具体的に教えてほしい。(河邊委員)
- 2年生が、町探検を通して、この街にはこういう公園がある、こういう挨拶をしてもらったなど「地域の良いところを伝えたい」と企画し、イベントを開催した。6年生のイベントをヒントに企画されたもの。(校長)

12 報告事項

木村委員より、今年度の学校支援活動(ボランティア活動)記録について、資料を交えながら説明があった。また、大羽委員より「学校支援ボランティア活動の案内」について説明があり、今後は、保護者と目に見える関係を作っていかななくてはならないとの話があった。

13 その他連絡事項等

- ・ 学校運営協議会自己評価について 令和5年12月22日(金)までに提出
- ・ 学習発表会 令和6年2月3日(土)8時30分~11時05分
- ・ 第4回学校運営協議会 令和6年2月3日(土)15時より 学習室にて開催